

損することのススメ

片桐英数塾通信

全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

目先の五十より未来の百！

二〇〇六年の七月から書き始めた片桐英数塾通信も、今号で九十五年となります。丸十五年なら一八〇号でなければならぬのですが、昨年、新型コロナウィルスの対策のために塾運営をいったん変更した時、塾通信も二度ほどお休みさせて頂きました。それで、今号で九十五年なのに一八〇号ではありません。ちよつと残念ではありますが……。

「もう十五年かあ」などとしみじみと思い出しながら過去に書いた文章を見ておりました。今号で一七八号ですが、多くて読むのに一苦労。最初は懐かしがつて読んでいましたが、疲れてしまい途中で読むのをやめてしまいました。しかし、この十五年、いろんなことがあったのですね。読みながらいろいろと思ひ出しました。

社会的に大きな出来事では二〇〇八年のリーマンショック、二〇一一年の東日本大震災、

そして昨年の新型コロナウィルス。とても大きな出来事がこの十五年の間に三つも入っています。二〇二〇年の東京オリンピックも開催されていけばこの中に含まれていたのですが、さて今後どうなるやら……。

教育の方も変わりました。今ではそれほど聞きません。十年前くらい前は「ゆとり教育の弊害」が騒がれていました。それで二〇一二年だったと思いますが、教科書が部厚くなりまして「ゆとり教育」が騒がれていた頃、ある塾生が「自分たちはゆとり世代なんて思っていない。大人たちが勝手にゆとり教育を作った、自分たちをゆとり世代だと言っているに騒いでいるだけだ」と真にもっともな意見を語っていたことを思い出します。また、「覚えることを増やしても、ついでこれない子が増えるのではないだろうか？」と心配される塾関係者もいらつしやいました。その後、二〇一六年の改定を一度はさんだあと、今年より中学の教科書が変わりました。

特に英語が変わりました。ざっくりと言いますと、受動態が中二へ、仮定法が中三に入ってきました。これだけでも大きな変化ですが、観音寺・三豊市では教科書の採択も変わったため変化の度合いはさらに大きいように感じている

のはわたしだけではないうに思います。ただ、教科書が変わったとは言え、学ぶ内容は変わらないのですから、そこは慣れの問題なのだと思います。

しかし、英語を学ぶベースが前倒しされたことは重要視しなければならぬと考えています。もともと、わたしは、「母国語を十分に身につけた上で、それから外国語を学ぶべきではないか」と考えているのですが、こうも日本を取り巻く国際環境が激変してしまうと、「とにかく少しでも早く外国語に触れさせないといけない」という考えもよくわかります。国外でも働けるだけの力が必要ならば、将来、社会に出ていく人たちの職業の選択肢が少なくなってしまうように思います。もう、時代の流れがそうなのなら、徹底的に中学生の今、語学学習の基礎を叩き込んであげようという思いとなり、今年度より、中学部の英語では指導を見直しました。

これまででは、教科書に出てくる文法、単語などを基準に指導していましたが、もつと先のことを考えると、それだけでは足りないように感じていました。隆先生（じいちゃん）がよく言うので隆先生の授業を受けている人は聞いたことがあると思いますが、「ええかあ、英語つちやのお、繰り返し何度も何度もするんぞ」と考えています。

その他、文法を調べたいときに、解説を見て理解できるような解説が充実した文法問題集と教科書準拠の問題集を使うことにしました。特に文法の問題集はかなりハイレベルなものを採用したため、経験上、生徒たちにはかなりハードだと思えます。ちなみにわたしにとってもハードなのですが……。とにかく未来を見据えると、今、ハードなことをやっておかないといけな

いと考えています。ちなみに文部科学省の指導

映像授業で万全の入試対策を！

本科講座〈レベル別対策〉〈共通テスト対策〉〈大学別対策〉

単なる断片的知識の積み重ねでは大学入試には太刀打ちできません。「なぜそうなるのか」といった本質的理解が求められているからです。本科講座では、講義と演習を通じて、本質を見抜く力を養成していきます。早目の共通テスト対策、二次・私大対策を！！

実戦入試対策講座〈国公立二次対策〉〈私大入試対策〉

これまで培った実力を、短期間で得点力アップに直結させるのが実戦入試対策講座です。特に受験生がまずきやすい項目、志望校別の出題傾向、可否を分けるポイントを絞ってコンパクトに解説していきます。入試で戦える実戦力につなげていこう！大学別特講は本番で役に立つ！

単科講座〈テーマ別攻略〉〈単元別攻略〉〈スーパーモジュール〉

補強したい弱点や、もっと強化したい分野がはっきりと見えてきた、あるいは特定の単元を短時間で鍛え上げたい—こういう場合におすすめなのが単科講座です。各教科の内容を適正に細分化。本当に必要な内容をピンポイントで学習できるようになっています。効率よく弱点を克服。入試の頻出単元をバッチリ補強することができます。早期に苦手を克服せよ！！

受講相談随時受付中！

要領の改訂のコンセプトは「生きる力」です。今という時代の背景からそのコンセプトの真の意味を察すると、「子どもたちが未来に渡り生き残る力」と解釈した方が合っていると考えています。なぜなら、十人以上前は、日本は「世界第二位の経済大国」という自負がありましたし、それに、ハイテクノロジーの分野では他を寄せつけない世界最先端の国だと思っていました。しかし、最近では「どうした日本」というようなことがよく言われることが増えてきたように思えるからです。

ところで、なぜそうなってしまったのでしょうか。理由はいろいろとあるのでしょうか、わたしは、「利益」欲しさのあまり、「目先の利益」に目を奪われ過ぎたことが最大の原因ではないかと思っています。「目先の利益」を言いかえると「明日の百より今日の五十」に近いと思います。明日まで待てば百なのに、少しでも早く利益を手に入れたくて今日の五十に手を伸ばしてしまった。とにかく「利益」が欲しくて、すぐに手に入る「利益」ばかりを追いかけて続けた結果、長い目で見ると何かにつけ伸び悩む時代になってしまったのではないかと思います。

それなら逆に「伸びるにはどうすればよいのか？」という問いを立てると、その答えは自（おの）ずと見えてきます。要は今日の五十を我慢して明日の百を手に入れようとするればいいのだと思います。しかし、目の前に五十があるのに、それを見送るには勇気がいります。損した気になります。そういったときは、「言葉が活きます」「損して得取れ」。今が辛くて、きつくて、損したような気持ちになっても、必ず将来の得は大きくなりますし、長続きするものです。ことわざになつてくるくらいですから、きつと昔からそうなのでしょう。

今、ハードなことをして、きつと感じたり、損したと感ずることがあったとしても、必ず未来に生きるはずですから、得しようと思わず、損しませんか？未来のために。

片桐英数塾からのお知らせ

天神教室・坂本教室の6月のお休みは、
6日(日)、13日(日)、20日(日)、27日(日)です。

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

塾生の皆さんでLINE登録がまだの方は、こちらのQRコードを読み取り、名前を送信してください。映像授業の予約、変更や面談などの予約、欠席のご連絡などLINEでいつでも受付けています。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

